

## 第3回蒲郡市ヘルスケア基本計画策定検討協議会 会議録（要旨）

### 1. 日時

平成27年12月25日（金）13時から14時15分まで

### 2. 場所

蒲郡市役所新館5階庁議室

### 3. 出席者（名簿順、順不同）

#### （ア）委員

福原直樹委員代理井野佐登氏、河邊義和委員、津下一代委員、小池高弘委員、小澤洋介委員、大槻幹委員、貴田昭和委員、園田俊司委員、濱田公巳委員、井澤勝明委員

#### （イ）オブザーバ

出村嘉朗氏、岡田守人氏、簗原英治氏、松本康弘氏

#### （ウ）市・事務局

企画部 大原義文 尾崎弘章

KPMGヘルスケアジャパン 大割慶一、石川雅俊

### 4. 資料

資料1：蒲郡市ヘルスケア基本計画（案）（非公開）

資料2：市民講座案内資料

## 5. 次第

### (ア) 開会

- ・ 本日の議題、議事進行について説明

### (イ) 蒲郡市ヘルスケア基本計画の方向性（案）説明

- ・ 本計画策定受託者である KPMG ヘルスケアジャパン株式会社より、基本計画案について説明【資料 1】
- ・ 基本計画案
  - ① これまでの議論および、ご意見等をふまえ、基本計画案をとりまとめた。
    - ✓ 国の施策との関連について追記
    - ✓ 蒲郡市の他事業等との連携に関して追記
- ・ 基本計画の内容
  - ① ラグーナ未利用地について、ヘルスケアモール&ラボゾーンと、住まいゾーンのゾーニングを行う。
  - ② コンセプト
    - ✓ 市民や来訪客の意欲的・主体的な健康管理や充実した生活の実現を支援するとともに、より良い地域包括ケアシステムの構築に貢献し、疾病の予防や早期発見、回復につなげるまち
    - ✓ 実証研究・開発の環境を提供し、先端的な健康・予防・再生医療等のヘルスケア産業の育成・集積に資するまち
  - ③ 主な事業内容
    - ✓ 前回議論点から変更なし

### (ウ) 意見交換（主な意見）

- ・ 蒲郡市民病院は市民の急性期医療提供に重要な役割を持っている。この機能は維持し、地域医療を重視する計画として欲しい。
- ・ 高度急性期、急性期という区分もあり、更に広域で検討が必要な内容を持ちこむと議論が進みにくくなってしまうため、共通の問題認識として今後の医療をどうするのかという意識をもちつつ検討する姿勢が重要。
- ・ ヘルスケアに関する計画は地方創生戦略として、各地で練られている。人口減少社会の中で価値観の転換をしていくことが必要。蒲郡市民のみを対象とすることでよいのか、より広域、法人市民も含めた働く人の健康をイメージしていくことも必要。
- ・ 蒲郡ヘルスケア計画においては市民目線であった。本計画はラグーナへの事業誘致が主なものと理解しているが、本計画では信念がやや揺らいでいるのではないか。ラグーナに事業誘致をするのであればそれを全面に出すとい

うのも一つで、その場合は事業誘致を「主」市民の健康増進を「従」とすることもあり得る。現在の内容の場合、どちらを「主」にしたいのか分かりにくく、市民目線でアプローチするのであれば、その部分をもう少し厚くすべきではないか。

- ・ 今回の計画は、蒲郡ヘルスケア計画の具体化に向けた計画という位置付けであると理解している。アクションプランとして位置付けるべき。また、市民対象とするだけでは事業として回らないので、より広域を対象とし、来訪者も利用者、ファン、リピーターになっていただくことが必要。
- ・ これまでデータが各事業者や機関によって断絶していたため、投資効果の見える化ができていない状況であるため、今回の計画で地域一体で健康づくりのベースとなるデータづくりができるようになると素晴らしい。
- ・ 基本計画ということで色々なことが盛り込まれているので、今後具体化のためにどうしていくのかというのが一番の課題ではないか。
- ・ 国でも様々な計画・検討を行っているので、蒲郡市の取り組みをうまくアピールできるとよい。
- ・ 現状の「ヘルスケア基本計画」という名称が他の計画と混同してしまう可能性もあり分かりにくいので検討して欲しい。

#### **(エ) 基本計画（案）の承認**

- ・ 基本計画（案）について、今回提示の案の方向性で最終化することで承認
- ・ 最終調整について事務局で実施し、会長・副会長・承認後、委員に報告することで承認

#### **(オ) 会長あいさつ**

- ・ これまでの協議会について総括、今後の取り組みへの期待について挨拶

#### **(カ) 副市長あいさつ**

- ・ 協議会参画および最終案承認についてお礼・挨拶

(終了)